

保護者・幼児期支援者向け人材育成プロジェクト ペアレントプログラム(ペアフロ)プロジェクトチーム

取組期間:令和4年7月～5年3月

報告書記載者:札幌市子ども発達支援総合センター 米島広明

代表:札幌市子ども発達支援総合センター 米島広明

令和4年度の重点取組

- ・実際に地域での取り組みをおこない、その問題点を整理し普及手法を検討していく。
- ・昨年同様に研修会を開催し、ペアレントプログラムの普及・啓発をおこなう。

活動概要

- ・地域でのペアレントプログラムの実施
 - “さっぽ・子ども広場”における母親支援の一つとしてペアレントプログラムを実施した(R4年9月～11月の期間、全6回、1グループでの開催)。さっぽ職員2名が研修型として参加し、ちくたくが講師として支援した。
 - 母子同室(母親がプログラムを受けている中、子どもは同室内で託児)で試行したところ、大きな問題なく実施することができた。
- ・研修会の開催について検討
 - 昨年度と同様の内容で、動画配信による研修を準備中(時期的に今年度の開催になるかどうかも含め検討中)

抽出された課題

- ・新しいフィールドでは、企画段階で開催日時の調整や職員体制の調整において難しさがあった。それぞれの状況に応じて研修から実際の導入までの流れの整理が必要。
- ・研修を受けるだけでは実施にあたっての難しさが話題になってしまうため、実際の場面を見学、体験していくことが必要。

課題解決に向けた次年度の取組予定

- ・“さっぽ”で継続開催(年数回)の予定のため、その中で導入への道筋を整理する。
- ・実際の場面に見学者を受け入れ、それぞれの現場で導入する際の問題点を整理する。
- ・札幌市としてペアフロ普及のために、研修や導入の仕方などの道筋を整理する。

※構成委員については名簿を添付